

2022年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：労働経済学特論	
担当教員名：李 永 俊	
授業科目概要： 本講義では、労働市場の諸問題について、文献の輪読と討論を通して検討することを目的とする。講義の前半では、労働経済学の基礎理論を、教科書を用いて解説する。講義の後半では、日本の労働市場が抱える諸問題の中で、人口減少問題に焦点を当てて講義を進める予定である。また、人口減少に対する対策を経済学の視点で多角的に模索する。より詳細な内容は開講時に、担当教員に確認すること。	
履修上の留意事項： ・ 授業は教科書の輪読を中心とするので、参加者の積極的な参加を強く望む。 ・ 学部レベルのミクロ、マクロ、計量経済学の知識を前提とするので、当該科目を復習しておくこと。	
教科書・参考書（参考文献）	
書名：人口80万人時代の青森を生きる－経済学者からのメッセージ 著者／編者：李永俊・飯島裕胤 出版社：弘前大学出版会 出版年：2019	書名：「東京」に出る若者たち－仕事・社会関係・地域間格差 著者／編者：石黒格・李永俊・杉浦裕晃・山口恵子 出版社：ミネルヴァ書房 出版年：2012
書名：地方消滅－東京一極集中が招く人口急減 著者／編者：増田寛也 出版社：中公新書 出版年：2015	書名：若年者就業の経済学 著者／編者：太田聡一 出版社：日本経済新聞出版社 出版年：2010
書名：労働経済学－理論と実証をつなぐ－ 著者／編者：川口大司 出版社：有斐閣 出版年：2017	書名：日本の労働市場－経済学者の視点－ 著者／編者：川口大司 出版社：有斐閣 出版年：2017
評価方法及び判定基準： 参加者の発表内容、授業に対する態度（学習意欲、発言など）、レポートなどを総合的に勘案して評価する。判定基準は、修士レベルの理解が得られているか否かである。なお、成績評価のための試験は行わない。	

授業目標及び進め方：

報告担当者が教科書の指定箇所を、責任を持って読むことは当然として、関連事項についても自分で調べて、報告してもらう。教員も関連事項について講義を行う場合もある。

参加者全員に課題を出し、自分たちで調査を行うこともある。統計データを収集して分析を行うことや、国内外の関連文献を読むなどの作業が考えられる。

第1回 ～ 第6回	テーマ：労働市場の基礎理論—労働供給、労働需要、労働市場の均衡— 内 容： 労働市場の諸問題を捉える考え方を、労働市場の基礎理論を通して学ぶ。労働供給の意思決定過程や労働需要関数、そして完全競争市場での均衡点が導かれるメカニズムを理解することを目指す 教科書／参考書 川口（2017）
第7回 ～ 第10回	テーマ： 人口減少と地域経済 内 容： 日本の人口減少の実態を、公表データに基づいて正確に読み解く。また、人口減少のメカニズムを経済学的な視点で理解する。そして、人口減少が地域経済にもたらした影響を検討する。 教科書／参考書 李・飯島（2019）、増田（2015）、川口（2017）
第11回 ～ 第12回	テーマ：若年者の労働移動の実態とその理由 内 容： 地方から流出する若者の実態とその理由を、経済学的なメカニズムを用いて検討する。 教科書／参考書 太田（2010）、石黒・李・杉浦・山口（2012）
第13回 ～ 第15回	テーマ：青森県の労働市場 内 容： 青森県の労働市場の現状をさまざまなデータを用いて明らかにし、その解決策を検討する。また、青森県の労働市場を通して、地方と都市との関係、地方のあり方を検討する。 教科書／参考書 李・飯島（2019）、石黒・李・山口・杉浦（2012）